

グ事業を個人的に楽しみにしている。今年度はまだ、完全とは言えないと思うが、平常時に近い、充実した活動を期待している。

○市広報紙「だん暖たてやま」連載の図書館だよりについて。6月号は牧野富太郎さんの本の紹介で、タイムリーな記事で良かった。普段自分では選ばない、知らない本を知ることができるのでいつも楽しみにしている。

○館山市図書館として廃棄する本の目安があったら、教えてほしい。
→館山市図書館には「除籍基準」があり、それに照らし合わせて、判断している。

○「館山市図書館の基本的運営方針」にも市民の生涯学習を応援する図書館として、「郷土資料収集の充実」を盛り込んでもらったが、資料の収集・保存に当たって、図書館と博物館の間で、連携ができているということが良い。

○事業内容に高齢者への読書支援サービスに関する説明があったが、障がい者向けの放課後等デイサービスなどの施設に、読み聞かせの訪問、図書の貸出、移動図書館の巡回は可能か。窓口や方法があれば教えてほしい。

→館山市生涯学習課では、生涯学習出前講座「でまえ・いっしょ」といって、市職員や市民ボランティアが講師として出向き、講座を開く事業を行っている。場所は申請者に用意してもらい、概ね10人以上のグループを対象に実施している。図書館でも1講座用意しているので、利用していただきたい。グループの人数については応相談。

○図書館で本を借りる方法は以前と変わらないのか。図書利用券(カード)を紛失してしまうということもあると思うので、スマホなどを利用して、バーコードを見せて借りられるなど、利用しやすい方法の検討をしているのか。

→現在も図書利用券を提示し、図書の貸出を行うという方法に変更はない。利用券紛失の際は、再発行が可能。利便性向上を考慮して、電子図書館を導入し、利用者には活用してもらっている。

○電子図書館の利用について。令和4年度は電子図書館の使い方講座が開かれたが、講座は敷居が高いので、本を借りに来た時に、教えてもらえるとありがたい。

→遠慮なく、お気軽にお声掛けください。

協議会后、貸出カウンターに「わからないことがあったら、お気軽にお声掛けください」と記載した看板を設置した。